

# 2018年度 A級蹴士及び準A級蹴士発表

2018年10月8日  
日本テコンドー協会  
宗師範 河 明生

2018年度、日本テコンドー協会（以下、JTA）A級蹴士および準A級蹴士を発表する。

## I、定義

A級蹴士とは、組手および蹴武の型のいずれにおいても蹴美に秀でた名選手をさす。

準A級蹴士とは、全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会（以下、全日本FT大会）予選会における組手および蹴武の型において相対的には秀でた成績を残しているが、A級蹴士の絶対的基準を満たしていない選手をいう。

たとえば、予選会A級蹴武型試合において一度も優勝していない場合、A級蹴士と認めない。

## II、効果

- 1) A級蹴士および準A級蹴士は、第29回全日本FT大会の複数種目（最大3種目）参加を許可する。
- 2) A級蹴士は、JTA創始者の個人指導を受け、内弟子同等の薫陶を受けることができる。

## III、2018年度 A級蹴士および準A級蹴士の発表

### 一、A級蹴士

#### 第1位 A級蹴士 福島良菜

段位・二段 所属・福岡筑紫野 TC 年齢・16 学年・高1 出身・福岡県筑紫野市

写真

講評

第28回全日本FT大会において最優秀選手賞受賞（2大会連続）。  
A級蹴武型優勝（2連覇）、女子組手B級優勝、団体戦型（2連覇）  
出場した3種目すべてで優勝。

少女部出身者で初のフルコンタクト・テコンドーに挑戦する勇気は素晴らしい。  
驕らず高ぶらず謙虚な練習態度を堅持し、勉学も福岡県で上位をキープしている。  
日本跆拳道が目指す「文を高める武」の少年少女部出身者の模範である。  
（最近、JTA門人内で「ラナ様」と慕われている）

組手→ 第29回全日本F T大会の女子組手（A級・B級統合）での活躍を期待したい。

型→ 全日本F T大会連覇に次いでレベルの高い関西大会A級蹴武型において優勝。  
第29回全日本F T大会A級蹴武型の優勝候補筆頭。3連覇挑戦に注目したい。

過去認定 **5年連続認定。**  
2015及び2016年度A級蹴士認定。2014年及び2016年度準A級蹴士認定。

## 第2位 A級蹴士 倉田剛志

段位・二段 所属・千葉柏テコンドークラブ 年齢・39 出身・北海道函館市

写真

講評 驕らず高ぶらず謙虚な練習態度とたゆまぬ努力を堅持し、  
業界第1位・大企業勤務の激務をこなしながらも、  
第29回全日本F T大会予選会の組手および型に積極的に参加し結果を出している。  
日本跆拳道が目指す「文を高める武」の社会人の模範である。  
(J T A門人内で「クラ様」と慕われるかも知れない)

組手→ 出場した予選会で負けなし。  
だが、一本勝ち・技有り勝ちがなく蹴りの鋭さが必要である。

型→ 優勝あるいは1回戦負け等、安定していない。  
大きな体格であるがゆえ、型の練習回数をより一層増やすことが肝要である。

過去認定 **3連続認定。**  
2016年度準A級蹴士認定。2017年度A級蹴士認定。

## 二、準A級蹴士 (講評省略)

## 第3位 準A級蹴士 前根奏子

段位・二段 所属・横浜鶴見テコンドークラブ 年齢・24 出身・神奈川県相模原市

写真

過去認定 2015年度A級蹴士、2016年度準A級蹴士認定。

## 第4位 準A級蹴士 森 慎治

段位・初段 所属・福岡筑紫野 TC 年齢・15 学年・中3 出身・福岡県筑紫野市

写真

## 第5位 準A級蹴士 武田龍倭

段位・初段 所属・東京城南 TC 年齢・14 学年・中2 出身・東京都大田区

写真

過去認定 2016年度準A級蹴士認定。

## 第6位 準A級蹴士 長濱聖英

段位・初段 所属・長崎佐世保 TC 年齢・17 学年・高2 出身・長崎県佐世保

写真

本年度初認定。

## 第7位 準A級蹴士 高橋英秀

段位・初段 所属・川崎 TC 年齢・12 学年・小6 出身・神奈川県川崎市

写真

過去認定 2017年度準A級蹴士認定。